

令和5年度 第1回 小教研授業研究会 図画工作科

日にち : 令和5年7月12日(水)

会場 : 川崎市立はるひ野小学校

公開授業 : 第3学年3組

授業者 : 能登 啓允

題材名 : 「わたしの6月の絵」

授業会場 :



【時程】

13:10~

《受付》

13:30~14:15

《授業公開》

第3学年3組 (授業会場:3年3組教室)
「わたしの6月の絵」 A 表現(2) 絵に表す

14:15~14:40

《移動・休憩》

14:40~14:55

《開会》

会場校あいさつ はるひ野小学校教頭 山室 忠敏先生
研究会会長挨拶 片平小学校校長 紀 裕子先生

14:55~16:00

《研究協議》

授業者から
グループディスカッション
全体協議

16:00~16:20

《指導講評》

講師 : 川崎市立小学校図画工作科研究会 副会長
川崎市立西有馬小学校長

丸尾 明彦先生

~16:30

《閉会》

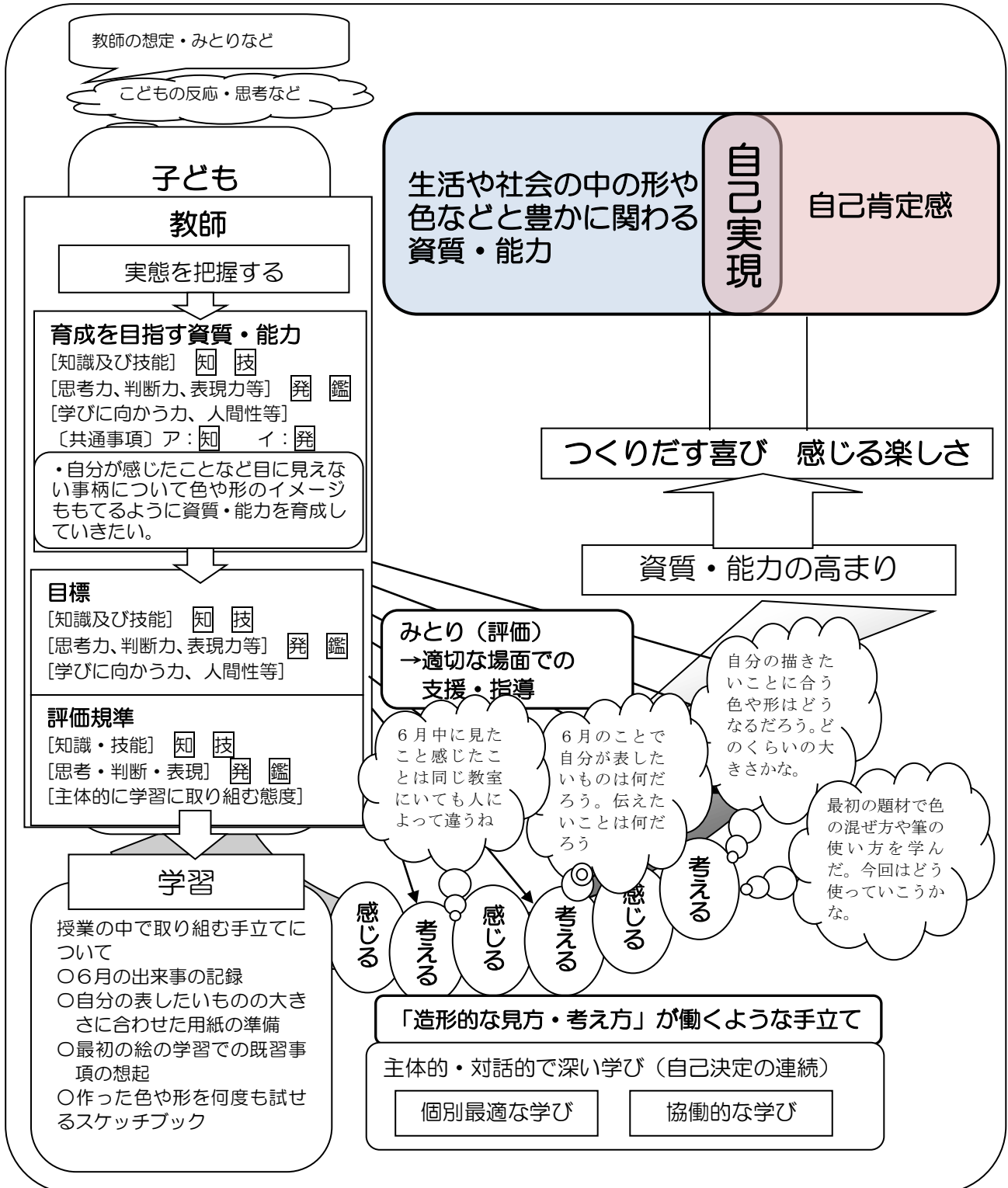
第3学年3組 図画工作科学学習指導案

指導者 川崎市立はるひ野小学校

能登 啓允

1. 題材名 「わたしの6月の絵」 A表現 (絵に表す活動) 6時間扱い

2. 「つくりだす喜び 感じる楽しさ」につながる授業の構想



3. 活動場所 3年3組 教室

4. 題材観

(1) 子どもたちの実態

3年3組の子どもたちは、明るく元気な子が多い。当番活動や係活動にすすんで取り組み、自分たちで創意工夫して活動しようとする姿も見られる。一方、自分の思いについて言語化することが難しい子や、相手を慮る気持ちに欠ける子も見られる。クラスでの活動の中に協働的な遊びの時間を設け、少しずつ自分や相手の気持ちについて考えたり、言葉として伝えたりする機会を意図的に増やしている。

図画工作科については、皆それぞれ発想を膨らませながら思い思いの作品に表している。「絵の具＋水＋ふで＝いいかんじ！」では、混色や水加減について考えながら「いいかんじ！」の色や形を生かして作品に表し、色の見方や感じ方について広げた。使う画用紙のサイズや枚数について自分で決めることや、スケッチブックで試し描きを自由にできるようにするなど、活動に選択の幅をもたせることで児童一人ひとりが発想を広げながら学習に取り組む姿が見られた。

(2) 題材と育成を目指す資質・能力

本題材は、「6月」というテーマをきっかけとして、思いに合った形や色の感じを見付けて絵に表す。そして、学習を通して、自分がどんなものや事柄に気持ちが揺さぶられ、心惹かれるのかを中学年なりに捉え、考えようとする力を育てることをねらいとしている。自分がどんなことに心動かされたか、6月にどのようなことが感じられたかが思い出せるように、6月の始めから、自分の一日について記録していく。記録したことを見返し、見たこと感じたことなど心惹かれたものやことについて、授業の中で色や形を用いて絵として表していく。同じ教室で過ごしていても児童一人一人が1か月の中で見ることや感じることはそれぞれ異なり、今回はその面白さも感じてほしいと考えている。また、自分の6月を振り返ることで、自分が何を大切に、どんなことに心を惹かれるのかを改めて感じる機会としてほしいと考えている。

5. 題材の目標

(1) 知識及び技能に関する題材の目標

- 6月をさがしたり、見つけた6月の様子から感じたことを表したりするときの感覚や行為を通して、色の感じ、形の感じ、それらの組み合わせによる感じ、色の明るさなどを理解する。(知識)
- 水彩絵の具を適切に扱うとともに、クレヨンなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。(技能)

(2) 思考力、判断力、表現力等に関する題材の目標

- 色の感じ、形の感じ、それらの組み合わせによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、6月をさがしながら感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを見つけ、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。(発想や構想に関する資質・能力)
- 色の感じ、形の感じ、それらの組み合わせによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、見つけた6月や、自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。(鑑賞に関する資質・能力)

(3) 学びに向かう力、人間性等に関する題材の目標

- 進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

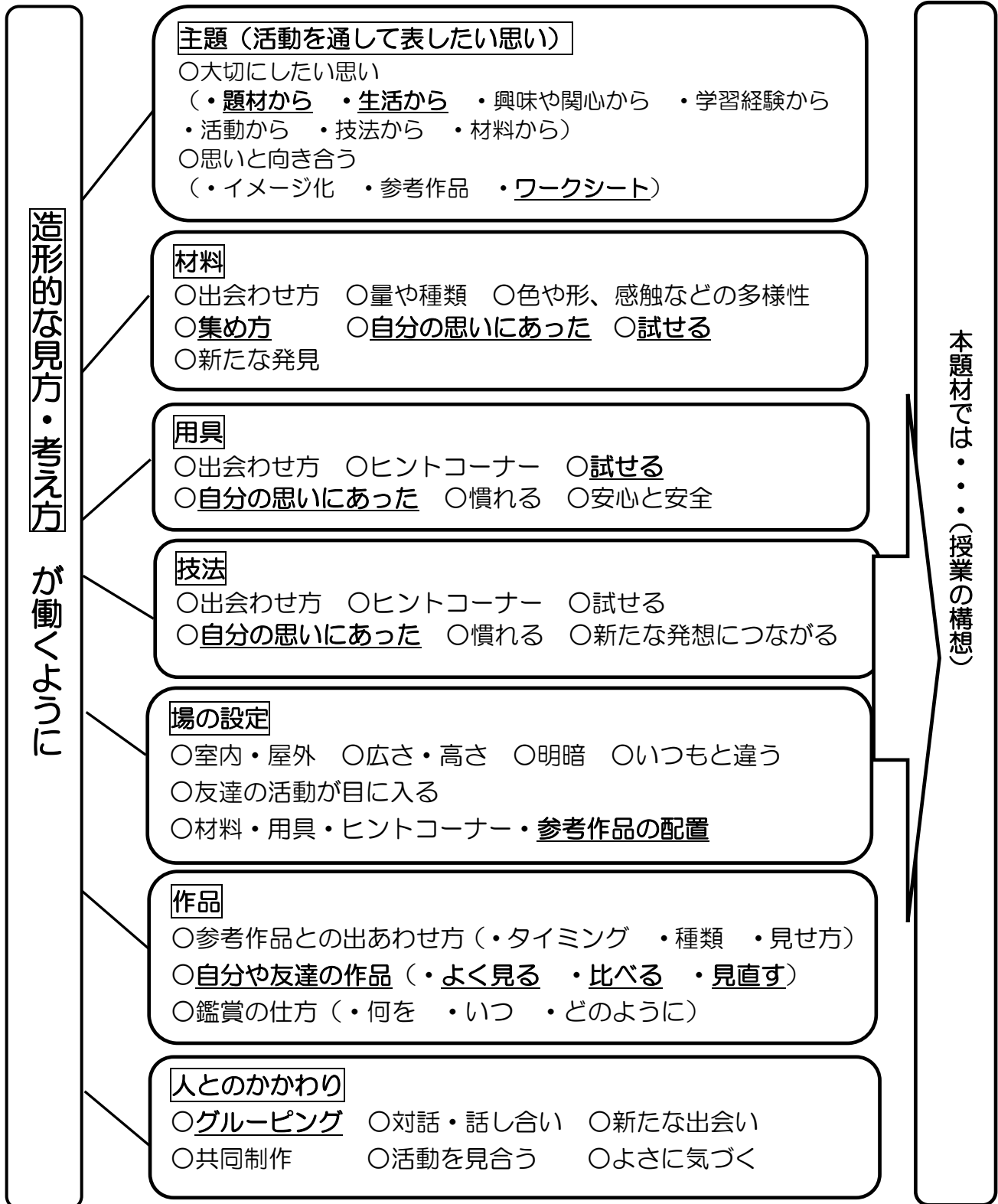
6. 題材の評価規準 ～ 3つの観点から育てたい力を考える ～

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知 6月の生活の中で、毎日の様子から見つけたり感じたりしたことから絵に表すときの感覚や行為を通して、色の感じ、形の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを理解している。</p> <p>技 絵の具の扱いに十分慣れるとともに、手や体全体の感覚を働かせ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。</p>	<p>発 自分の6月について記録したものなどをもとに、自分のイメージをもちながら、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを見つけ、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。</p> <p>鑑 自分や友達の作品などから造形的な面白さや楽しさについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方・感じ方を広げている。</p>	<p>主 自分の作品に対し、試したり直したりしながら、つくりだす喜びを味わい、形や色などに関わったり、友達の作品を鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。</p>

7. 「造形的な見方・考え方」が働くような手立て

(1) 手立ての視点

- ・「造形的な見方・考え方」を働かせながら、主題・材料・技法と関わることができるようにするために・・・
- ・「造形的な見方・考え方」を働かせながら、作品をつくったりみたりできるようにするために・・・
- ・「造形的な見方・考え方」を身につけ、生活に活かせるようにするために・・・



(2) 本題材における、造形的な見方・考え方が働くような手立て

- 題材名から学習の見通しをもたせる

新しい題材の導入の時間に、これからの学習でどのような活動をするか、題材名から考え見通しをもてるようにしている。今年度、既に取り組んだ題材も学習に入る前に、題材名からどのような活動をするか想像させ、学習の見通しと関心をもてるようにしてきた。今回は6月の初めに、題材名を白抜きの文字で書かれた画用紙で提示することで、なぜ何も色が無いのか、という疑問をもたせ、「どんな色や形にするかはこの6月で集めていく」というイメージと、これからの学習の見通しをもたせている。題材名の画用紙は2時間目の試し描きをする際の参考となるように、絵を描いたものを提示している。

- 「わたしの6月」を記録し、作品作りに活用する

「6月」という言葉を聞いた時に、季節感としては「梅雨」植物ならば「あじさい」というイメージが子どもたちの中にまず浮かぶと考える。しかし、実際はもっと多くのことが起こり、たくさんのことを見て、経験していることがあると考える。そこで今回は1か月間、6月の様子について五感を生かしながら色や形、言葉などを用いてどんな様子だったか記録を積み重ねていく。その中で自分が心惹かれたものやことについて選ぶことで、6月というイメージの幅を広げると共に、それらに見合う色や形をより考えていけるようにする。

- 自分の表したいイメージの大きさや数に合わせた画用紙の活用

子どもたちの中には絵に一つのことを大きく表したい子もいれば、いくつかのことを表したい子もいると考える。そこで、今回も八つ切りの画用紙と、それを2等分したものと4等分したもの、計3種類の大きさの用紙を用意する。それらを組み合わせて六つ切りの台紙に貼り作品として表す。何枚か描く子どもたちにとっては構図の学習にもつながり、貼り方の違いを見ることでそれぞれの新しい気付きにもなると考える。また作品カードも作品数に合わせて書けるように用意している。

- 自分が作った色の試しの場

子どもたちは絵の具で混色を作った際、パレットに上に見える色をそのまま使いがちである。作った色が画用紙上でどう見えるか、自分が表したい色や形を表すのに近いのかどうか試せるように、今年度は一人一冊スケッチブックを用意している。また、担任側としては色を表す際に子どもたちがどのようにしてその色や形にたどり着いたかを把握する手立てとなる。同時に鑑賞カードや作品の写真も貼り、自分の学習記録として残していけるようにしている。

- できた作品の提示の場

早めに描けた作品から黒板に提示し、どのような6月の絵があるか、新しい発見や気付きが表れるようにしていく。

8. 準備

[教師] 白抜きの題材名が描かれた画用紙

[子ども] 絵の具 「私の6月」の記録 スケッチブック

9. 指導と評価計画（6時間扱い）

	◇子どもの活動 ・予想される子どもの反応	○教師のかかわり・手立て ◎造形的な見方・考え方が働くような手立て	評価規準□と 評価方法（ ）
1 次 4 5 分 6 月 上 旬 実 施	<p>◇題材名から学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月の絵を描くのか ・何で白色なんだろう ・これから6月が始まるから、まだ白いのか。 ・一人一人の6月を絵に表していくんだ。 <p>◇今もっている6月のイメージをクラスで共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月といえば雨 ・植物なら紫陽花 ・蒸し暑い ・外で遊べない <p>◇「わたしの6月ブック」の使い方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日書いていくんだね。 ・ピンゴみたいだ。 ・どれくらい書けるかな 	<p>○学習に対する関心と見通しがもてるように白抜きした文字で題材名が描かれた画用紙を提示する。</p> <p>◎文字が白抜きされている理由を考え、何を描くかはこれから決まっていくことに気付かせる。</p> <p>◎一人ひとりの6月についての絵を描く見通しをもてるように題材名に「わたしの」がついている場合とついていない場合での感じ方にどんな違いが出るか考えさせる。</p> <p>○6月の絵を描くために日々の記録が必要だということが考えられるように、「6月のイメージ」だけだとあまり広がりがないことを確かめる。</p> <p>◎オノマトペが出てきた場合は、雨など同じ事象でも言い方で絵のイメージが変わることに気付かせる。</p> <p>◎見たこと以外にも記録に残せることが分かるように、雨の日を五感で表すとどのような感じになるか問いかける。</p> <p>○記録することに対して前向きになれるように、毎日9つの欄すべてを埋める必要は無いことを伝える。</p> <p>○絵に表す際は記録したことを9つの欄に書いたことを組み合わせて表してもよいことを伝える。</p>	
<p>五感を生かしながら「わたしの6月ブック」を作ろう</p>			
	<p>◇外に出て、その日の空気などその時に感じたことを試しに書いてみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日は風が強いな。 ・日差しがじりじりする。 ・葉っぱがすごく緑色をしている。 ・土のおいがるな。 <p>◇6月の生活について記録をつけていく</p>	<p>○どのように記録していけばいいか見通しがもてるよう、実際に外に出て感じたことを思いのままに書きだしてみる。</p> <p>○何を書けばいいか悩んでしまう児童にはまず空を見上げさせ、どんな天気で何色かを考えさせる。</p> <p>◎同じ場所にいっても感じたことやとらえたこと、また、その表し方は一人ひとり異なることに気付けるよう、どんなことを書いたかをクラスで共有する。</p> <p>○週に2枚など児童の実態に合わせて、取り組めるようにしていく。また、もっと書きたいという児童にはいつでも書けるよう紙を用意しておく。</p> <p>○6月の記録について視点が広がるよう、記録をある程度集めた所で、自分の記録を振り返り、絵に表したいことを考えたり、友だちがどのようなことを記録しているか知ったりする</p>	<p>知</p> <p>「わたしの6月ブック」を作成することを通して、絵を描くための材料をあつめていくことを理解している。 (活動・作品)</p>

		<p>時間を取る。</p> <p>◎学習の導入で見せた白抜きの題材名の画用紙に教員が絵を描いていき、何を表し、どのような表し方があるのか見通しがもてるようにしていく。</p>	
2 次 1 8 0 分	<p>◇書いてきた記録を見直し、自分の6月を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見返すといろいろなことを思い出すな。 ・どれを絵にしていこうかな。 <p>◇記録の中から自分が絵に表したい事柄を1つ選び、試しがきをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな色にしようかな。 ・水加減の違いでどうなるか試してみよう。 <p>◇できた作品を黒板に貼り、どんな6月の絵があるか友だちの作品を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天気は同じでも、色や描き方が違うね。 ・触ったことや聞いたこととか色々なことが絵に表せるんだな。 	<p>○絵に表すことの見通しがもてるよう、自分の書いてきた記録を見直して絵にする事柄の候補を選び、丸を付けていくよう伝える。</p> <p>◎抽象的な絵でもイメージが伝わるのが分かる様に、4月の絵の題材の作品を掲示し、形や色の組み合わせについて考えることを促す。</p> <p>◎自分の今表したいことを描く時間や、色、形について見通しがもてるよう、全員共通の大きさの画用紙に試し描きをする。</p> <p>○表したいことが自分のイメージに近づくように、前回の絵の題材で学習した、水加減や混色の仕方、筆の使い方など技法について確かめる。</p> <p>◎全員の作品を提示することで、同じ事柄でも違う表し方をしていることに気付いたり、自分とは違うことをかいていて参考にしたりできるようにする。</p> <p>○次時からの学習に見通しがもてるよう、使う画用紙のサイズと、あと3時間で絵を完成させることを伝える。</p>	<p>知 6月の生活の中で、毎日の様子から見つけた感じたりしたことから絵に表すときの感覚や行為を通して、色の感じ、形の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを理解している。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>6月の間で、心にのこったことを絵に表そう</p> </div>			
	<p>◇自分の記録を見直し、絵に表したい事柄を決め、枚数の見直しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このことをよく覚えているから絵にしてみよう。 ・3時間あるから今回は2枚かいてみようかな。 <p>◇表したい色や形を試しがきしながら、作品に表していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色の混ぜ方や水加減に気を付けながて、いい感じの色を作ろう。 ・スケッチブックに試して色を確認しよう。 ・思っていたより1枚に時間がかかった。枚数を変更しようかな。 ・かき終わったけど、もっ 	<p>◎表したいことの色や形について手掛かりになるように、前時に描いた全員の絵を掲示しておく。</p> <p>○水加減や混色の仕方について学習したことが確かめられる掲示物を黒板に貼る。</p> <p>○表したいことが決められない子は記録と一緒に見直し、色や形の見通しがもてるようにする。</p> <p>◎グループの形にして、友だちがどのように学習を進めているか自然と目にできるようにしていく。</p> <p>◎描けた子から黒板に貼っていき、他の子たちが表すヒントになるようにしていく。</p> <p>○作品が早めに完成した子は、混色を試しながら別の作品を作っていくように促す。</p> <p>○作品カードは、作品数に合わせてかけるように、デザインの異なる4種類のカードを用意しておく。</p>	<p>発 「わたしの6月ブック」を手掛かりに、自分の6月について、イメージをもちながら、どのような色や形を使うか決めたり、使いたい用紙の大きさを決めたりするなど考えている。 (活動・作品)</p> <p>技 絵の具の扱いに十分慣れるとともに、手や体全体の感覚を働かせ、</p>

	とかきたいことがあるな。		6月の思い出について色や形を工夫しながら表している。 (活動・作品)
3 次 4 5 分	友だちの6月の絵を鑑賞しよう		
	◇お互いの作品を鑑賞する。 ・同じ雨でも色が違うと感じ方が全然違うね。 ・そういえばクラスでこんなこともあったね、絵を見て思い出したよ。 ・みんなの6月の思い出がそれぞれちがって面白いね。	○自分の絵を友だちがどのように鑑賞したかが分かるように、鑑賞はプリントを自分の机に置き、友だちに書いてもらう形式で進めていく。 ◎鑑賞の視点として、「6月のイメージをどのような色や形で表しているか」「自分の表したことと、どこが同じで違うか」を提示する。	鑑 友だちの作品を鑑賞する活動を通して、作品を鑑賞する楽しさを感じると共に6月に対するイメージを広げている。 (様子・発言・ワークシート)

※主体的に学習に取り組む態度は、児童自ら「知識及び技能」を獲得したり、「思考力、判断力、表現力等」を身に付けたりするために、粘り強く取り組んだり学習を調整したりしている姿を活動全体を通して評価する。

10. 本時の活動（3/6時間 45分）

（Ⅰ）本時の目標

- 「わたしの6月ブック」を手掛かりに、自分の6月について記録したものなどをもとに、自分のイメージをもちながら、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを見つけ、6月の思い出について色や形を工夫しながら絵に表す。（技能）

（Ⅱ）本時の展開

<p>◇子どもの活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想される子どもの反応 	<p>○教師のかかわり・手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎造形的な見方・考え方が働くような手立て 	<p>評価規準 <input type="checkbox"/> と評価方法 ()</p>
<p>◇前時の活動を振り返り、これからの学習の見直しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前は試しに小さな画用紙にかいたね ・自分と同じことでも表し方が違ったな。 ・あと3時間で何枚描こうかな。 	<p>◎自分が表したいことの手がかりにしたり、参考にしたりできるように、前時に描いた全員の絵を掲示する。</p> <p>○自分がどれくらいのペースで進めていけば完成するか見通しがもてるよう、学習計画を確認する。</p>	
<p>6月の間で、心にのこったことを絵に表そう</p>		
<p>◇自分の記録を見直し、絵に表したい事柄を決め、絵に表していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このことをよく覚えているから絵にしてみよう。 ・3時間あるから今回は小さい画用紙で2枚描いてみようかな。 ・まず1枚かいてみてそれからどうするか考えよう。 ・描きたいことが決まらないな。 <p>◇表したい色や形を試しがきしながら、作品に表していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色の混ぜ方や水加減に気を付けて、いい感じの色を作ろう。 ・スケッチブックに試して色を確認しよう。 <p>◇次時からの自分の取り組みについて見直しをもって学習を終わる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思っていたより1枚に時間がかかった。枚数を変更しようかな。 ・描き終わったけど、もっと描きたいことがあるな。 	<p>◎自分の表したいことの描き方について見通しがもてるよう、水加減や、混色の仕方、筆の使い方など、既習事項について掲示する。</p> <p>◎友だちの進め方や描き方が自然と目に入るように机をグループの形にする。</p> <p>○描きたいことが決められない子は、記録と一緒に見返し、特に心に残っていることを確認する。</p> <p>○描きたいことが決まっているが、どのように絵に表せばいいか悩んでいる子は、描きたいことについてどのような色や形のイメージがあるかを聞き、スケッチブックで試すよう促す。</p> <p>◎小さい画用紙を選び、早めに描き終わった児童の絵は黒板に掲示し、他の児童が参考にできたり、時間の見通しをもったりできるようにする。</p> <p>○パレットで作った色を次時も使いたい児童がいる場合は、パレット全体洗わず、水気を吸い取るだけでよいことを伝える。</p>	<p>技 絵の具の扱いに十分慣れるとともに、手や体全体の感覚を働かせ、6月の思い出について色や形を工夫しながら表している。 (活動・作品)</p>

6月 日 () 名前 ()

<p>さわった 🖐️</p> <p>色や形 🎨</p>	<p>天気</p> <p>色や形 🎨</p>	<p>きいた 👂</p> <p>色や形 🎨</p>
<p>空気・風</p> <p>色や形 🎨</p>	<p>見た 👁️</p> <p>色や形 🎨</p>	<p>クラス</p> <p>色や形 🎨</p>
<p>かいた 📌</p> <p>色や形 🎨</p>	<p>今日は…</p>	<p>味わった 🍷</p> <p>色や形 🎨</p>

